

学校給食費の改定案について

牛乳と米の供給単価上昇への対応、副食費に消費者物価指数の変動を反映

<現行> 小学校：276円 中学校：311円

小学校	302円(+26円)	= (牛乳) 75円 + (米) 43円 + (副食) 184円 (175円×1.054〈消費者物価指数〉)
中学校	345円(+34円)	= (牛乳) 75円 + (米) 49円 + (副食) 221円 (210円×1.054〈消費者物価指数〉)

※ 消費者物価指数（食料）の動向

対前年比率 (平均)	R3.9月～R4.8月	R4.9月～R5.8月	R5.9月～R6.8月
	1.028	1.075	1.054

① 牛乳の供給単価

R6年度 請求単価 (A)	R6年度 供給単価	R7年度 供給予測単価 (B)	差額 (B) - (A)
68円	72円	75円	+7円

- ・ R6年度の供給単価はR6年3月に通知 ⇒ R6年度の請求単価 (A) は△4円でスタートしている。
- ・ R7年度供給予測単価 (B) は、R6年度供給単価に消費者物価指数の動向（平均変動率1.054）を反映して算出

② 米の供給単価

	R6年度 供給単価 (A)	R7年度 供給予測単価 (B)	差額 (B) - (A)	
小学校	33円	43円	+10円	(※無洗米75g)
中学校	33円	49円	+16円	(※有洗米100g)

- ・ R7年度供給単価は2段階での値上げを予定。1段階目はR6年9月の通知により小学校+2円、中学校は+11円。
- ・ 2段階目はR6年12月の通知（1段階目の決定額から20～24％程度の値上げを予定）により、1段階目の決定額に24％を乗じている。
- ・ 中学校では白飯の残食を考慮した提供量調整の取組みにより本来54円のところ49円としている。

③ 副食費の検討

	R6年度相当額 (A)	消費者物価指数	R7年度相当額 (B)	差額 (B) - (A)
小学校	175円	1.054	184円	+9円
中学校	210円	1.054	221円	+11円